



## 評価における参考資料について

- 法人に提出いただく「中期目標の達成状況報告書」及び「学部・研究科等の現況調査表」の他に、参考資料として、複数の資料を評価者に提供します。

- ＜例＞
- ・ 直近の認証評価結果の概要
  - ・ 第1期中期目標期間の現況分析の水準判定結果一覧
  - ・ 論文データベースに基づく参考資料
  - ・ 入力データ集、データ分析集
  - ・ 学系ごとの参考例

※ あくまで評価を行う際の参考情報として評価者に提供するものであり、これらの資料により評価を制限するものではありません。



# 入力データ集、データ分析集について

---

- 大学ポータルサイトに登録されているデータや、機構が分析したデータを、より法人の自己評価に活用しやすい形で示すことができるよう、準備を進めている。
- 【入力データ集】  
調査表に基づくデータ
- 【データ分析集】
  - ・ 学系別単年度データ
  - ・ 法人別経年変化データ
- 基礎資料として、評価者へ提供する。



# 入力データ集の例示(イメージ)

2012年度 ○○大学

3-1 学生(年次別)

基準日:調査実施年5月1日現在

学部・研究 科等コード	学部・研究科等 名	課程区分	昼夜 区分	履修区分	学生数		合計	うち、留学生			うち、社会人		
					年次別			男	女	合計	男	女	合計
					1年次								
男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計					
010	○○学部	学士	昼間	通学	182	212	1883	18	22	40	1	0	1
030	△△学部	学士	昼間	通学	198	86	1263	23	32	55	0	0	0
030	△△学部	学士	夜間	通学	22	15	160	0	0	0	13	2	15
060	××研究科	修士課程	昼間	通学	40	63	276	5	25	30	22	36	58
070	●●研究科	博士課程 (後期)	昼間	通学	18	9	141	21	34	55	38	8	46
070	●●研究科	博士課程 (前期)	昼間	通学	61	59	285	71	110	181	32	14	46
080	■ ■ 学府	博士課程 (後期)	昼間	通学	31	1	155	49	11	60	48	3	51

2012年度 □□大学

3-1 学生(年次別)

基準日:調査実施年5月1日現在

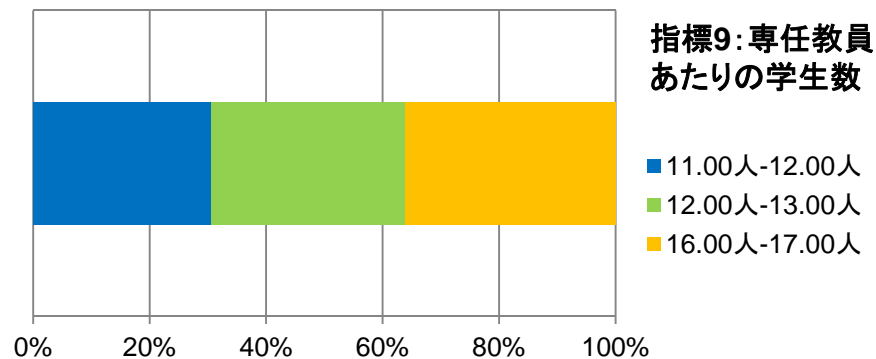
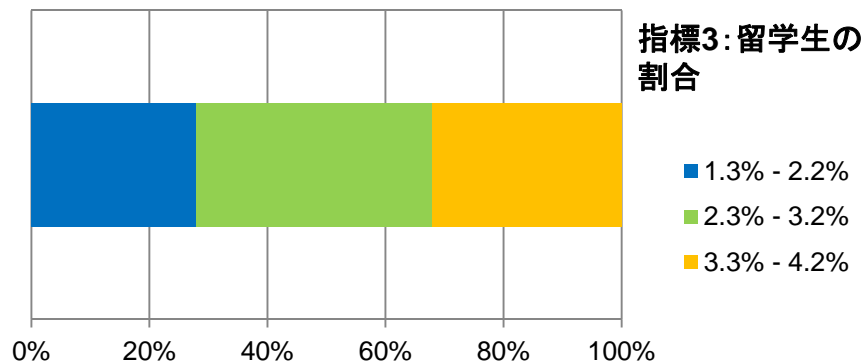


# データ分析集の例示(イメージ)

## 学系別単年度データ

学系

課程区分



指標番号	データベースから把握できるデータ・指標	指標の計算式
指標3	学生数あたりの留学生数	留学生数【前年度】／全学生数【前年度】
指標9	専任教員あたりの学生数	課程別学生総数【前年度】／全専任教員数【前年度】

### 各指標ごとの平均値と標準

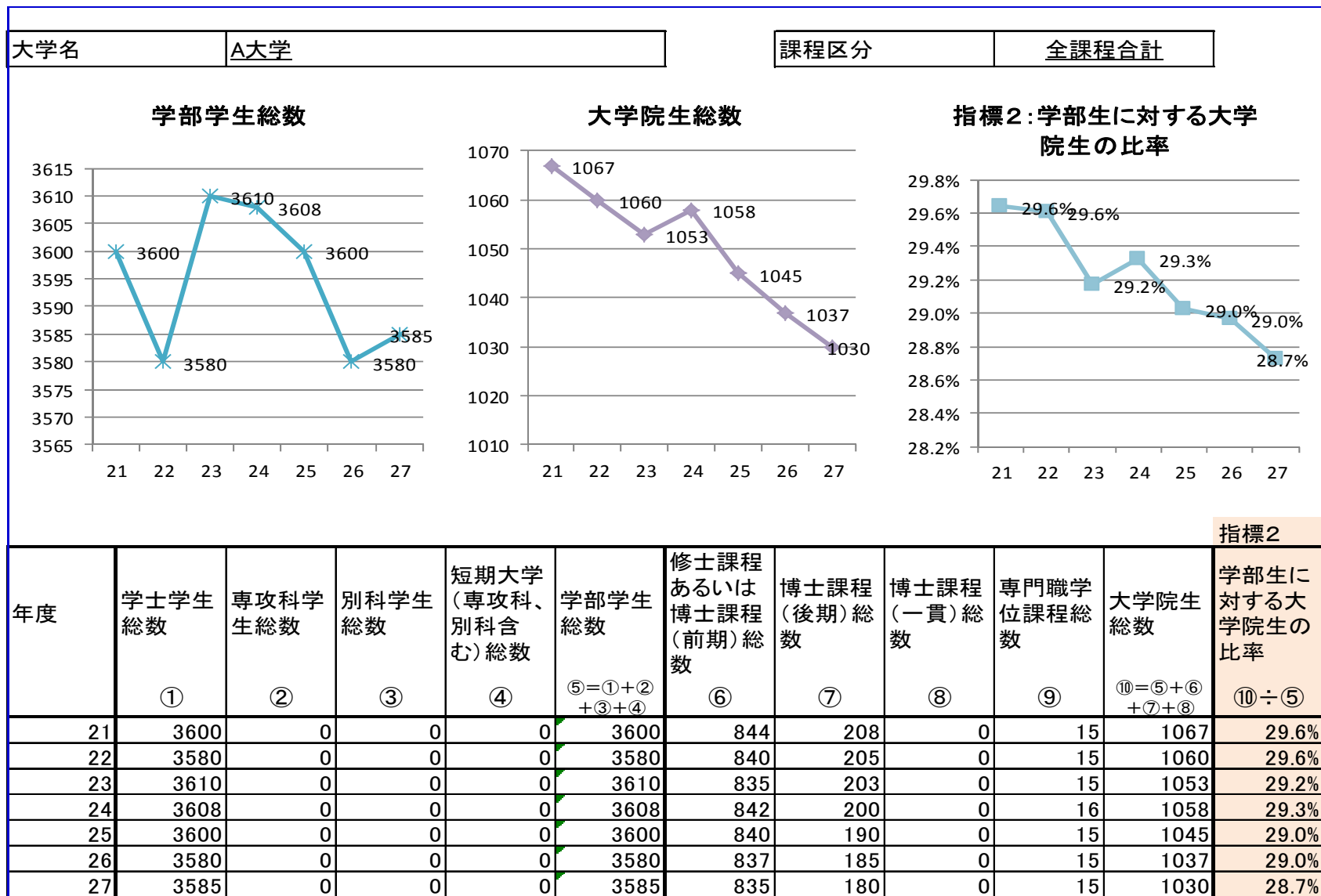
	指標3	指標9
平均値	2.545%	13.200
標準偏差	0.268	2.085

大学名	学部名	学生数 ①	留学生数 ②	留学生の割合 ②÷①	専任教員数 ③	専任教員あたりの 学生数 ①÷③
A大学	教育学部	1087	15	1.4%	86	12.6
B大学	教育学部	933	22	2.4%	85	11.0
C大学	教育学部	1962	43	2.2%	123	16.0



# データ分析集の例示(イメージ)

## 法人別経年変化データ





# データ分析集提供スケジュール

---

○平成27年7月

平成22～25年度分 データ分析集について確認依頼

○平成27年8月頃

大学ポートレートでの教育情報の公表に係るデータ等  
(平成27年度学校基本調査と同等のデータ)について  
提供のお願い

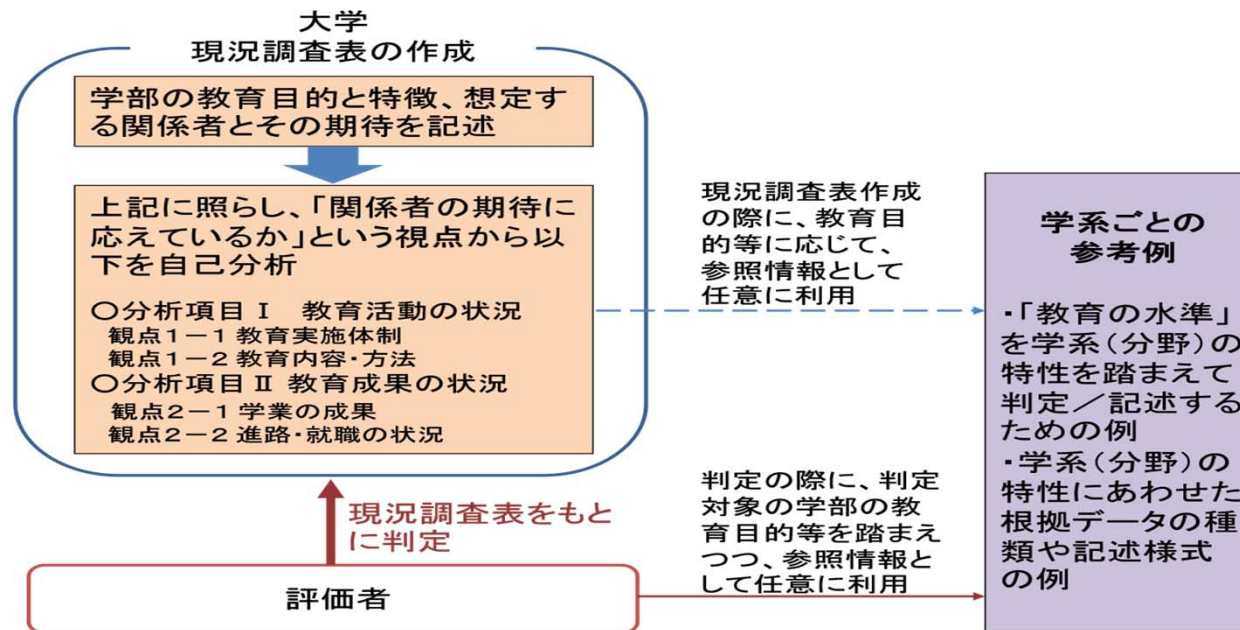
○平成27年10月頃

平成22～27年度分 データ分析集について確認依頼



# 学系ごとの参考例について

- 現況調査表の各分析項目の観点について、既に設定されている分野共通の記述内容例に、各学系におけるより具体的な参考例を示す形で作成したもの。
- 評価者が評価の際に一情報として参考にすることを想定している。



(参考URL: 当機構ホームページ)

[http://www.niad.ac.jp/n\\_kikou/shokaigi/hyouka/kokuritsu/1264101\\_889.html](http://www.niad.ac.jp/n_kikou/shokaigi/hyouka/kokuritsu/1264101_889.html)



# 学系ごとの参考例について

## 【各学系の特性を踏まえた参考例(教育)】

### ＜教育＞分析項目 I 教育活動の状況

#### 観点1-2 教育内容・方法

- 人文科学系 : 学生が幅広い知識や素養を身に付けるための学修研究機会の工夫  
(例:実践的なインターンシップの実施、研究プロジェクトへの参加等)
- 理学系 : 理学系における教育内容の幅広さを踏まえた学際的教育の工夫  
(例:共通科目、他大学における履修の認定、副専攻制度等)
- 工学系 : 新領域の開拓や、新たな価値を創造する人材養成の教育の工夫  
(例:学際的な科目群や、他大学と連携した新領域分野の科目設置等)
- 農学系 : 農学の教育研究に係わる附属施設・設備の整備や活用の工夫  
(例:農場、牧場、演習林、水産実験場、練習船、動物病院等)
- 保健系 : 医療従事者に必要な教養や、倫理性を涵養する教育の充実  
(例:患者とのコミュニケーション力、医の倫理、医療統計、医療経済等)





# 学系ごとの参考例について

## 【各学系の特性を踏まえた参考例(研究)】

### ＜研究＞分析項目Ⅰ 研究活動の状況

#### 観点1-1 研究活動の状況

- 人文科学系 : 社会課題に対する研究実施状況  
(例: 政策や社会の要請に応える研究の推進や、実務者との協力等)
- 理学系 : 学際的研究の促進  
(例: 研究者が連携した研究活動や、新領域開拓の研究活動の実績)
- 工学系 : 産学連携を通じたイノベーションの創出  
(例: イノベーション創出や、社会課題の解決を目指した研究活動の実績)
- 農学系 : 国内・地域での産学官連携  
(例: 国内・地域の民間企業や、NPOやNGO等との共同研究の実績)
- 保健系 : 医療機関等との連携  
(例: 附属病院等における、診療等を通じた研究実施の体制や実績)